

お招ひのもり



学校ホームページ：<https://hokuto.ed.jp/oono-syo/>

【重点教育目標】
「何事にも意欲的に取り組み
自分の考えや思いを伝え合う子の育成」



震災の間の中に見えた未来の光

北斗市立大野小学校 校長 本庄伯幸

令和6年は、大きな震災と事故という暗いニュースから幕を開けました。

被災地では家族を失い、家を失い、ふるさとの街並みを失い、今なお避難生活を余儀なくされている多くの方々、学校が避難所となりいつものように教育を受けられない子どもたち、親元を遠く離れ集団生活をしながら学業に取り組む子どもたちの姿に心が痛みます。

また、震災と連動するように発生した大きな事故。

旅客機の乗客が全員無事に避難したという奇跡に安堵しながらも、震災支援という任務の中命を落とされた海保機の5名の乗組員の方々の無念はいかばかりかと存じます。

震災、飛行機事故等で被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた皆様のご冥福を心よりお祈りいたします。

まさに未来を予測することが困難な混沌とした時代を思わせるお正月でした。

教育に携わる者として、こうした大災害や大きな事故に対して我々は何と無力なのかと失望感や徒労感を感じながらテレビのニュースを眺めていた私に突きささる光景が映し出されました。

ある避難所にいた中学生や小学生の子どもたちが、率先して支援物資の仕分けや配布をしたり、自主的に避難所新聞を作成して掲示したり、お年寄りなどの災害関連死を防ぐために、毎日時間を設けて避難されている皆さんと軽い運動や体を動かすゲームをしたりしている様子です。

こんな先が見えない災害に直面した子どもたちが、今必要なこと、自分たちのできることを考えて自ら行動しているのです。

自分の食べるものだって自分の生活だって自分の将来だって不安でしように…

外国のことはわかりませんが、日本の子どももまだまだ素晴らしい！期待できる！と胸が熱くなりました。

さらにはこういう「自分で（正解のひとつではない）課題に向き合い、自分で考え、自分で解決する」子どもを育てなければならぬと強く思いました。

そういう子どもは理想ではなく普通にちゃんといえるのだと目の当たりにしたのです。

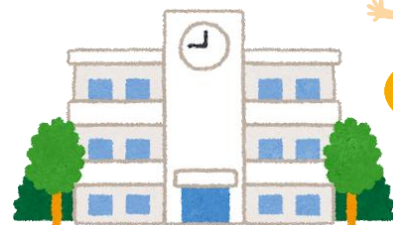
1月17日、大野小学校の3学期の授業がスタートしました。始業式に集まった子どもたちの顔は、どの子も一層凛々しく逞しく感じました。

始業式ではその子どもたちと震災の話をしなが、
「当たり前前
のことが当たり前前
にできるのは当たり前
ではない。毎日
が当たり前前
に過ごせることに感謝
して精いっぱい頑張って
生活しましょう。」と
話しました。

保護者の皆様にもこれを踏まえて、令和6年も本校の教育活動により一層多大なご理解とご支援を賜りますことを心よりお願い申し上げます。

日・曜日		2月の行事予定
1	木	街頭指導 4時間授業 立ち止まり訓練 新1年1日入学保護者説明会
2	金	委員会
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	全校集会 大野ぎおんばやし ALT3・4年
7	水	ALT5・6年 フッ化物洗口
8	木	4時間授業 オンライン授業
9	金	
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	大野ぎおんばやし ALT3・4年
14	水	ALT5・6年 フッ化物洗口
15	木	街頭指導 サポート教室校外学習(グリーンピア大沼)
16	金	開校記念日
17	土	
18	日	
19	月	5時間授業 2・4・6年参観日 学級懇談
20	火	5時間授業 1・3・5年参観日 学級懇談 図書ボランティア
21	水	ALT5・6年 フッ化物洗口
22	木	
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	大野ぎおんばやし ALT3・4年
28	水	ALT5・6年 フッ化物洗口
29	木	スクールカウンセラー来校

開校記念日



冬休み学習会

12月25日(月)と26日(火)の2日間、冬休み学習会が行われました。合計で270名の子どもたちが参加し、持参した課題に一生懸命取り組んでいました。

今回は、小中連携の一環として、大野中学校から卒業生が13名来校し、各学年・学級で、小学生に問題の解き方を教えたり、丸付けをしたりしていました。中学生は、久しぶりの小学校の教室に懐かしさを感じている様子でした。

また、CS(学校運営協議会)との連携で地域サポートボランティアスタッフとして、村田さん、駒島さんの2名が来校し、子どもたちの学習の手伝いをしていただきました。

大野小学校では、子どもたちが冬休みに学校に来るということで、日常の学校生活でできないことを体験する会にできるよう、学習会の内容や人のつながりを、今後充実させていきたいと考えています。保護者や地域の皆様からの考えや意見などありましたら、教職員やCSの委員へお伝えください。



北斗市のことに詳しくなろう

12月25日(月)、本校で「ほくと学ジュニア検定」が実施されました。この検定は、北斗市教育委員会が北斗市を担う子どもたちに市の歴史や文化・自然環境などへの興味を高め、より一層の郷土愛を育むように、市で作成した小学校社会科副読本を活用し出題され、平成27年度から実施しています。検定で満点になると、「博士」に認定されます。

今年度は、大野小学校から42名の子どもたちが受検しました。その中から、6年2組の富田幸輔くんと鍋谷弘稀くんの2名が満点、「博士」に認定されました。おめでとうございます。

1級に認定された子どもも8名いますので、来年度はさらに多くの子どもたちが博士に認定されるよう、この検定を盛り上げたいですね。

1月19日(金)には、北斗市教育委員会の教育長永田様が来校され、博士と1級に認定された子どもたち一人一人に表彰状を渡していただきました。

青少年赤十字道南地区冬季トレーニングセンター

12月26日(火)、本校赤十字クラブの4年生5名が青少年赤十字の研修会に参加しました。

このうち4名は夏季の研修会に続いての参加でした。道南地区の3つの加盟校から小学生14名が集まり、赤十字や国際人道法について学んだり、SDGsについて気付いたことや考えたことをグループで話し合い、発表したりしました。最後にはチームワークをいかしたゲームも行われ、本校の子どもたちは、楽しみながら新たな友だちと交流を深め、貴重な体験を積んできました。

<お知らせ>

- ① 12月21日(木)に安心メールで配信しましたが、3学期の日課(授業の始まりや終わりの時刻など)が変更になっています。朝の会は8時5分、1時間目は8時15分開始となっています。遅刻しないよう、ご家庭での声かけや準備をお願いします。また、下校時刻も10分早くなっていますのでご注意ください。詳しくは、配信されている各学年・学級通信でご確認ください。
- ② タブレットを持ち帰りネットドリルを活用した宿題に取り組んでいます。ご家庭でのタブレットの取扱いにご留意ください。